

6月7日：VN指数は取引終盤にかけて軟調に (VN-Index +0.31%)

- ECBが昨日利下げを決定したことを受け、投資家心理は改善。VN指数も上昇して取引を開始した。
- しかし、市場はすぐに慎重姿勢となり、方向感に欠ける展開となった。
- そのため、指数は徐々に後退。銀行セクターの支えにより、プラスは維持された。
- 後場、流動性は一段と低下し、市場の警戒感は更に高まった。
- 取引終盤には一時的に下落に転じたが、最終的にはわずかに反発して終了した。
- 235銘柄が上昇、178銘柄が下落、88銘柄が変わらずとなった。
- 流動性は20.0%減の17.8兆ドンとなった。

VN30指数はまとまりがない展開 (VN-30 +0.44%)

- 大型株で構成されるVN30指数は、13銘柄が上昇し、12銘柄が下落、5銘柄が横ばいとなった。
- VRE (-1.33%)は唯一の1%超の下落銘柄となった。
- 主な上昇銘柄は、FPT (+1.72%)、POW (+2.95%)、SAB (+3.66%)、TCB (+2.29%)だった。

セクター・個別株の動き

- DBC(+1.43%)は既存株主に対し、現在の市場価格より58%低い15,000ドン/株で8,070万株の売り出しを計画。
- SSIが運用するETF、SSIAM (+0.14%)は、台湾ユニオン銀行と提携し、台湾市場に参入した。
- 外国人投資家による売り越しは未だ止まらず、本日は4,769億ドンの売り越しとなった。STB (+0.16%)とHPG (0.00%)が大きく売り越され、一方、HAH (+3.75%)は買い越された。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。